

しゃかいふくしほうじんむさし 社会福祉法人六三四



しゃかいふくしほうじんむさしほうじんほんぶ 社会福祉法人 六三四 法人本部 〒187-0042 東京都小平市仲町364番地1
TEL 042-343-1895 FAX 042-346-0283 e-mail musashi@musashi1895.jp HP-URL <https://musashi1895.jp/>

事業所一覧

ちいきしあきふくし 地域支援部 生活介護事業

- ・生活リハビリセンター六三四
- ・生活リハビリセンター雅
- ・生活リハビリセンター絆

せいかくしあきふくし 生活支援部 共同生活援助事業

- ・六三四ホーム
- 青粋ケアホーム 彩ケアホーム
- ・お結び（短期入所）

そうだんしあきふくし 相談支援部

- けいかくしあきふくし 計画相談支援 しょうがいじ 障害児相談支援 じぎょう 事業
- ・スカイサポートセンター

あいさつ ご挨拶

しゃかいふくしほうじんむさし
社会福祉法人 六三四
じむしょくちょう やまぐち たける
事務局 長 山口 建

ひごろ 日頃より、しゃかいふくしほうじんむさし 社会福祉法人六三四の事業運営にご理解・ご協力を賜り深く感謝申し上げます。未だ、新型コロナウィルスにより地域福祉を取り巻く環境、事業運営は大きく変化し続けております。人と人との関わりの中で形成されているコミュニティの場や、感染のリスクがある環境も含め全面開放とはならず、また交流の場の閉鎖が未だに起きております。そのような中でも、コロナ禍の過ごし方や予防対策の浸透により、現在の生活スタイルに慣れてきている部分ではありますが、未だに生きづらさを感じつつ新型コロナウイルスの広がりによる不安や恐怖等、負の連鎖が広がっていることも事実です。未だ終息がみえない状況ではございますが、ご利用者様やご家族様、地域の方々とともに、何ができるのかを再考しつつ、実行性のある1年にしたいと考えております。地域に愛され必要とされる法人を目指し、またビジョンを抱き10年先、20年先、次の世代までその足跡と理念を継承していくために、皆様方の力をお借りしながら一歩先を見据えた価値観の創造に努めて参りたいと思っております。皆様方のご健康を心よりお祈りするとともに、本年度もよろしくお願いたします。

とうち めぐ かい ご当地巡り会

3月25日金曜日に令和3年度最後の行事として仙台をテーマにご当地巡り会を開催いたしました。仙台黒毛和牛を皆様の前で調理し桜の名所スポットをモニターに写しだしてご紹介させていただきながら、ステーキを召し上がっていただきました。ステーキは皆様に大変ご好評いただけただけのご様子でした。今回は、それだけではなく元バーテンダー職員によるオリジナルドリンクを皆様の前で作って提供させていただきました。皆様の注目の中作るのに、とても緊張してしまいましたが、実際に飲んでいただくと「おいしい!」とお言葉をいただき今後もこのような行事を企画していきたいと思いました。



こちらの仙台黒毛和牛をステーキ調理して皆様に提供させていただきました。その後、元バーテンダーによるドリンクを楽しんでいただきました。



こちらは、フレッシュなイチゴを使用したシェイク風のオリジナルソフトドリンクカクテルを作らせていただき皆様に召し上がっていただきました。初めての試みで不安もありましたが、大変ご好評いただけただけの様子で嬉しく思いました。

はなみ お花見ドライブ

生活リハビリセンター六三四、雅、絆、各施設お花見ドライブに行ってきました。未だ自粛生活のなか久しぶりの外出となり利用者様、職員ともに楽しんでいる様子でした。桜の開花に合わせて皆様と毎朝、開花予想のニュースをチェックしながらワクワクしていました。実際お花見に行った際は、利用者様も私たち職員も笑顔になり有意義な時間を過ごすことができました。

野球好きの利用者様、たまたまやっていた野球の練習と桜を楽しまれているお二人。



利用者様インタビュー

今回、生活リハビリセンター六三四に通所していただいている利用者様に、六三四についてインタビュー形式でお話を伺わせていただきました。

平成17年より通っていただいている男性利用者様

【六三四に通われて思い出や印象に残っていることは何かありますか？】

『最初の頃、六三四は今の場所ではなく広さも半分位だったかな、利用者の人数も半数くらいで通所する時間も今より大分時間がかかっていたんだよ。当時は、皆で近くの公園や川なんかもあって図書館にも散歩で行ったりして時には本を借りたりもしたんだよ。散歩をしながら自然や、園芸を見るのが楽しみで思い出に残っているね。今は、なかなか外で皆でというのも難しい時期で特に思い出されるよ。』

【今の六三四に通われての楽しみは何ですか？】

『今は、以前と比べ六三四の場所も変わり送迎での移動時間が短縮され作業できる時間も多くでき革作品を作ることに集中できるし、革工芸の先生が来る日には色々と聞けて充実できているね。他の利用者さんとしている麻雀も楽しみになっているよ。』

【六三四にきて良かったことは何ですか？】

『他の利用者さんや職員さんと、革工芸を通じて話したり、一緒に出かけたりできる事で時間を共有出来る所が良いところであり良かった事だね。』

平成23年より通っていただいている女性利用者様

【六三四に通われて思い出や印象に残っていることは何かありますか？】

『お昼に普段のお弁当ではなく料理人の方が来ていつもと違った食事ができたのは良かったですね。それとつい最近、お兄さんが作ってくれた飲み物もおいしかったわよ。』

【今の六三四に通われての楽しみは何ですか？】

『絵を描いたり革作品と一緒に作る事だったり、利用者さんや職員の人たちと、おしゃべりしたりするのもとても楽しみになってますよ。』

【六三四にきて良かったことは何ですか？】

『いろんな人たちと、お話を出来ることだったり普段食べたりしないものをみんなで食べれたり、それを家に帰って家族に話したりする時間も楽しい時間になってますよ。』

【インタビューをさせていただいて】

お二人より貴重なお話を伺えとても、ありがたい時間を頂戴できました。皆様との共有出来る時間は、とても大切だと改めて感じる事ができ、行事についての感想も語られ、それを参考に新たな活動や行事を取り組んでいきたいと心より感じました。今回インタビューに快く御協力くださいましたお二人の利用者様、本当に有難うございました。

生活リハビリセンター 六三四
犬塚 英憲

今後の予定

4月29日（金）	昭和三十九年・開所日	5月26日（木）	防災避難訓練（六三四・みやび雅）
5月3日（火）	憲法記念日・開所日	6月16日（木）	お楽しみ会（絆）
5月4日（水）	みどりの日・開所日	6月17日（金）	お楽しみ会（六三四・みやび雅）
5月5日（木）	こどもの日・開所日	6月24日（金）	防災避難訓練（絆）
5月10日（火）	メンバー懇談会（雅）	7月18日（月）	海の日・開所日
5月11日（水）	メンバー懇談会（絆）	7月22日（金）	納涼会（六三四・みやび雅・絆）
5月13日（金）	メンバー懇談会（六三四）	7月25日（月）	六三四たより発行

（毎週月・水・木曜日）
（毎週月～金曜日）

個別理学訓練（寺田PT）
個別言語訓練（鳴海ST）

令和4年3月に共同募金会より助成をいただき生活リハビリセンター 絆の送迎用車両が納車されました。利用者様の送迎だけでなく、車両を活かした外部活動の幅を広げていき社会参加の充実を目指します。助成していただいた赤い羽根共同募金並びに、赤い羽根共同募金に寄付をされた方々に御礼申し上げます。ありがとうございました。



小平ふるさと村 革工芸作品販売 出店

令和4年4月2日（土）に、小平ふるさと村で革工芸作品の出店の機会をいただきました。当日、天気も良くイベント日和の日となりました。地域の方々や、利用者様、ご家族の方々も来て頂き大盛況となりました。コロナ禍ではありますが、地域との交流に嬉しさを感じつつ、今後もこのような機会が増え、積極的に参加できればと思いました。改めてお立ち寄りいただきました皆様、ありがとうございました。

